

# 指定管理者管理運営評価シート

別紙 2

平成 27 年度

## 1 施設の概要

指定管理施設名 (施設所管課)	稲美町立いなみ野水辺の里公園 ( 教育政策部 生涯学習課)
指定管理者	NPO 法人 環境ユースイングてんま 代表者氏名 小村 徹 (平成 27 年度代表 赤坂 晃) ※平成 28 年 5 月 11 日改選
指定管理期間	平成 26 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日
指定管理委託料	11,555,000 円 (平成 27 年度)

## 2 指定管理者による自己評価

評価項目	事業計画	実績	自己評価	
運営状況	・開館日数・開館時間等	設管規則第 2 条第 3 条を遵守した運営管理。	A	適切な開館日数、開館時間の管理に徹している。
	・委託事業、自主事業の実施	自然体験イベント・セミナー実施、環境学習の受け入れ。 地域福祉課イベントとの協力。町制 60 周年ならびに、水辺の里公園 20 周年記念事業、被爆 2 世樹木植樹式実施。	S	従来の体験学習の指導や内部で養成した有資格者により、事業を実施。さらに記念事業ということで、町内の 5 園幼稚園、ボランティアなどの協力で事業内容を拡大した。
	・利用者の満足度	開園 20 周年を記念してのイベント・セミナーに来賓、幼稚園児などの参加者が増えた。	A	参加者募集時に即定員超えの状況。記念事業には、記念品を配布した。
	・その他 (特記事項)	地域連携事業 (ふあ〜みんな食育事業・ため池ミュージアム事業) の実施、課外授業、震災の子どもの受入れなど新規事業を実施	A	ため池管理の地域連携にも努めた。東北震災支援事業として、町の後援、地域の方々の協賛を得て福島の子どもの受入を実施した。開園記念の、町内 5 幼稚園児の作品展や、一般公募による写真展を開くなど、季節にあわせた企画展示に工夫を凝らし手作りした。
施設維持管理	・清掃 ・植栽等管理 ・警備 ・設備保守 ・修繕	・清掃、警備の委託先との密接な連絡による管理。 ・保守、修繕は、日常点検を詳細に行い、早めの対応実施。(橋の補修、看板設置)	A	セミナーに対応しながら年間計画を立て、草木の剪定を実施した。せせらぎ橋を応急処置するなど安全上の保身に注力している。
	・その他 (特記事項)	園内の桜の標準木に手作り	A	トライやる事業での間伐材

		看板設置。樹木プレートも間伐材を使用し、修繕した。		利用等、環境学習に役立った。 記念樹を専門家の指導のもとで、植樹した。	
利用状況	・利用者数	47,853人	A	家族連れが増加。様々な年代の来園者が増えた。	
	・施設稼働率	155.3人/1日来園	A	催物の開催により、新たな来園者を開拓した。	
収支状況	・収支計画	水族園事業に伴う費用増を他の経費の縮減にて対応。	A	予算管理の共通認識を図り、財務体質の改善を講じた。	
	・経費削減の取組み	役員それぞれの強みを活かし、できるものは役員で対応した。	A	間伐材の利用や、地元各団体、サポーターの協力で各種事業を実施。	
運営体制	・人員配置	適正な人員配置	A	運営状況に合わせた人員配置ができた。	
	・危機管理体制	防犯、景観に留意した伐採、体制の強化の実施。	A	危機管理体制の充実。災害を想定した勤務対応。	
	・苦情要望等への対応	苦情に対して、早急対応、所轄課への適宜な報告。	A	施設管理と自然調和の理念に基づき対応している。	
	・個人情報の保護及び情報公開	コンプライアンスの事例による周知。情報公開への確認。	A	公園だよりやブログ、写真掲示などに対し、許諾を必須条件としている。	
	・その他（特記事項）	地域との協働による管理推進。いなみ野水族園の安定した管理。	A	サポーターによる園内の蝶の生態調査の実施。マスコミなどへの情報発信を行っている	
			総合評価	A	地元団体などとの協働が生かされた公園管理、運営の充実を図った。

### 3 施設所管課による一次評価

総合評価	A
------	---

開園20周年を迎え、記念式典を開催するなど、常に新たな行事を企画し、事業を展開している。  
これに伴い、新たな利用者を開拓している。

施設の維持管理は、協定書等に基づき適正に行われており、園内の間伐材による案内表示看板の製作を中学生のトライアルウィークの中で、地域のボランティアやサポーターとともに行うなど、創意工夫しながら経費節減と同時に地域との協働を図っている。

町内外の幼稚園や小学校を始めとする園児・児童の見学も積極的に受け入れを行っており、自然の姿を再現した公園の展示を通じて環境教育の一端を担った。

今後も水辺の里公園の名にふさわしく自然に親しむことのできる公園の魅力を向上させつつ、より多くの住民の憩いの場となるように切に期待する。

#### 4 内部評価委員会による評価

総合評価	A
------	---

管理運営については、協定書通りに行われていて適正である。

地域団体と連携したイベントや新規事業にも積極的に取り組んでいることは評価できる。引き続き来園者のニーズに応じた魅力的なイベントなどの開催により、さらなる利用者の増加に努められたい。

アンケートの結果、利用者が高い満足度を得ていることは評価できる。今後とも施設が良好な状態が保たれるよう維持、管理に努められたい。

アンケート方法などを検討し、より多くの世代から満足度調査の精査を求める。

#### 5 外部評価委員会による評価

総合評価	
------	--

--